

令和 4年度予算見積調書

課室名：少子政策課

担当名：手当・ひとり親家庭支援担当

内線：3337

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B143	ひとり親家庭自立支援事業費			一般会計	民生費	児童福祉費	母子福祉費	ひとり親家庭福祉推進事業費	
事業期間	平成23年度～	根拠法令	母子及び父子並びに寡婦福祉法			針路	02 県民の暮らしの安心確保	SDGsゴール	1, 4, 5, 10
						分野施策	0206 生活の安心支援	SDGsターゲット	1-2, 1-3, 4-3, 4-4,
1 事業概要			5 事業説明						
<p>子育ての不安や生活の悩みを抱えながら地域で孤立しがちなひとり親家庭に対して、母子連合員が同じ立場の目線で相談支援を行うとともに正規雇用に結びつきやすい資格取得や条件の良い転職を支援することによりひとり親家庭の自立を図る。</p> <p>また、ひとり親家庭に必要な支援情報が届くよう、ポケットブック「まいたま」を活用してスマホによる情報発信を行う。</p> <p>(1) ひとり親家庭資格取得応援事業 10,444千円 (2) 母子家庭等交流・生活支援事業 6,650千円 (3) ひとり親家庭ワンストップ情報支援事業 306千円</p>			<p>(1) ひとり親家庭就職・転職応援事業 10,444千円 ア 事業内容：就業支援専門員を中心に相談から職場定着まで切れ目ない支援を行うとともに、ひとり親の資格取得を支援するため、セミナーや看護学校受験対策講座を実施する。 イ 事業計画 ・看護学校受験対策講座の実施 会場：県内3か所、人数：50人 カリキュラム：看護学校受験コース・准看護学校受験コース いずれも週1回 6～12月（全20回） ・資格取得セミナーの開催 内容：就職に有利な資格の紹介や取得方法、資格取得に向けての勉強・就職までの体験発表など 会場等：県内1か所</p> <p>(2) 母子家庭等交流・生活支援事業 6,650千円 ア 事業内容：子育ての不安や生活の悩みを抱えながら、地域で孤立しがちであるひとり親家庭に対して同じ立場の者の目線で相談支援（ピアカウンセリング）を行い、地域におけるひとり親家庭の見守り体制を確立する。 イ 事業計画：地域相談員への研修（1回）、地域交流会（35回）、グループ相談会（16回）、家庭訪問研修（1回） ウ 事業効果：当事者団体の相談支援能力の強化や活動の活性化を促すとともに、地域でひとり親家庭を見守る体制を整備しひとり親家庭の孤立の防止を図る。 令和2年度 地域相談員養成研修会 1回（参加者 39人）、地域交流会 27回（参加者 930人） 地域相談会 34回（参加者 982人）、生活支援講習会 15回（参加者 228人）</p> <p>(3) ひとり親家庭ワンストップ情報支援事業 306千円 ア 事業内容：ひとり親家庭に必要な支援情報が届くよう、ポケットブック「まいたま」を活用してスマホによる情報発信を行う。また、市町村を通じて「ひとり親あんしんサポートカード」を配布し「まいたま」への登録を促す イ 事業計画 ・「まいたま」へひとり親家庭に関する情報を掲載し、登録者に対しては直接情報配信を行う。 ・「ひとり親あんしんサポートカード」67,000枚を作成・配布し、「まいたま」への登録を促す。 ウ 事業効果：「まいたま」を活用しスマホによる情報発信を行うことによって、ひとり親家庭が必要とする情報を届けることが可能となる。</p>						
2 事業主体及び負担区分 (国1/2・県1/2)									
3 地方財政措置の状況 なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×0.4人=3,800千円									
予算額		財源内訳						一般財源	前年との 対比
決定額	17,400	国庫支出金	8,700					8,700	△2,758
前年額	20,158		10,079					10,079	